

No.	部長目標宣言	課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名	
				指標名	現状値	目標値		
①	障がいがあっても地域で自立した生活を営むことができるよう、一般就労の促進や福祉的就労の充実などに取り組むとともに、障がいに対する正しい理解の普及に努め、引き続き障がい者を地域全体で支える体制づくりを推進します。	社会福祉課	障がい福祉に係る施策を推進するため、燕市障がい者基本計画・第8期燕市障がい福祉計画・第4期燕市障がい児福祉計画を策定します。	市民意識調査において「障がいのある人への支援に対して不満」と答えた人の割合	40.0% (R7調査)	38.6%	障がい者基本計画等策定事業 (身体障がい者福祉事業)	
				地域生活支援拠点等整備事業の利用登録者数	17人 (R5～累計)	22人 (R5～累計)	障がい者タクシー利用料及び自動車燃料費助成事業(身体障がい者福祉事業)	
				障がいの重度化・高齢化や親亡き後を見据え、緊急時の受入体制の充実や自立を促進する体制を強化します。	障がい者体験宿泊支援事業後、アパート生活へ移行した人数	-	1人	身体障がい者(児)日常生活用具給付事業(身体障がい者福祉事業)
				障がい者が自立した生活を送ることができるよう就労支援の充実を図るとともに、判断能力が十分でない人の権利を守る成年後見制度の利用促進にも取り組みます。	就労継続支援B型事業所の工賃月額平均	20,500円 (R7見込)	20,600円	地域生活支援拠点等運営事業 (地域生活支援事業)
中間評価			就労継続支援事業所等から一般就労への移行者数	10人	13人	つながる工賃アップ事業 (地域生活支援事業)		
最終評価			福祉に関するアンケート調査において「成年後見制度を知っている」と答えた人の割合	21.6% (R5調査)	25.8%	障がい者雇用促進事業 (地域生活支援事業)		
						成年後見制度利用促進中核機関等運営事業(地域生活支援事業)		
②	関係機関と連携して生活困窮者の早期把握と自立を促進する支援を行います。	社会福祉課	フードバンク活動の支援及び連携強化のため、フードドライブ+(プラス)をさらに充実させ、ひとり親世帯や生活困窮世帯など、支援を必要としている世帯にフードバンクを通じて食品や生活用品を配布します。	フードドライブ+(プラス)で集めた「食品」を市内フードバンク等へ寄附した量 ※随時寄附含む	750kg	800kg	フードドライブ+(プラス)事業 (生活困窮者自立支援事業)	
				フードドライブ+(プラス)で集めた「生活用品」を市内フードバンク等へ寄附した量 ※随時寄附含む	293kg	300kg		
				関係機関と連携して生活に関する課題を抱えた世帯の相談支援を行うほか、早期に就労自立できるよう支援を実施します。	生活困窮者自立支援事業相談件数	81件	80件	生活困窮者自立支援事業
中間評価			ハローワークの就労支援ナビゲーターと連携し、就労につながった人の数	4名	5名			
最終評価								
③	生活保護業務のDX化を推進します。	社会福祉課	これまで紙照会で作業時間がかかっていた業務を効率化しケースワーカーの現場での活動時間に充てることで生活保護受給者の自立支援を促進します。	オンライン化による照会時間縮減率	-	90%	生活保護業務のDX (生活保護事業)	
				中間評価				
				最終評価				
④	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、人生の節目を祝う敬老事業を拡充し、生きがいづくりの充実をめめます。	長寿福祉課	人生の節目にお祝いと感謝を伝える機会の拡充を図り、対象年齢を80歳とすることで、より多くの方からご参加いただけるよう、敬老事業を実施します。	感謝を伝える80歳のつどい参加者の満足度(アンケートで「満足」と回答した人の割合)	90.0% (R7米寿を祝う会)	90.0%	感謝を伝える80歳のつどい (敬老事業)	
				感謝を伝える80歳のつどい参加率	25.8% (R7米寿を祝う会)	50.0%		
				中間評価			市民意識調査における「高齢者福祉の充実」の満足度	57.2%
最終評価								
⑤	高齢者が地域社会の一員としてつながりを持ち、豊富な知識と経験を活かしながら、いきいきと活躍できるよう、介護予防やフレイル予防に引き続き取り組み、活動の場や機会づくりを積極的に推進します。	長寿福祉課	リハビリ専門職等が短期間で集中的に訪問支援を行い、生活機能が低下している高齢者の自立支援に向けたサービスを実施します。	訪問型サービス利用後(1年以内)の要介護認定率	-	0%	県立吉田病院と連携した訪問型短期集中介護予防サービス実施事業 (介護予防・生活支援サービス事業)	
				「就労的活動支援コーディネーター」を継続配置し、高齢者が希望する活動と就労的活動の場を提供する市内介護事業所とのマッチングを行い、社会参加促進を図ります。	シニアNEXT人材バンク登録者数	20人 (6か月)		50人
				タブレットを使用した脳体カトレニング(コグエポ)を活用し、短期集中型「健康教室」(通所型サービスC)や各種イベント等において、利用者の認知機能を測定、経時変化による効果検証により、継続的な介護予防に努めます。	マッチング(紹介含む)件数	97件 (6か月)	180件	介護予防システム導入委託 (介護予防・生活支援サービス事業費)
				中間評価			コグエポ利用後のアンケートで「またやりたい」と回答した割合(通所型サービスCやイベントの参加者)	
最終評価			通所型サービスCで継続してコグエポを利用した人のうち「5種のバランスチェック」結果が維持・改善した人の割合	75%	80%			

No.	部長目標宣言	課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名	
				指標名	現状値	目標値		
⑥	介護保険制度の円滑な運営に向け、ニーズを踏まえた介護サービスの充実と保険給付の適正化を図ります。	長寿福祉課	健康福祉増進と介護保険事業に係る保険給付を適正に実施するため、高齢者保険福祉計画及び第10期介護保険事業計画に、国の法施行により策定が努力義務化された「認知症施策推進計画」を包含し策定します。	新規で要介護認定を受ける平均年齢	82.0歳 (R3基準値)	計画策定のため現状値を維持	第10期介護保険事業計画等策定事業(一般管理費)	
	中間評価							
	最終評価							
⑦	介護職員等の経済的負担の軽減や介護認定審査会の効率化を図り、介護事業を支える人材の確保や定着、介護認定審査会のDXを推進します。	長寿福祉課	介護職員等の経済的負担の軽減を図り、介護人材の確保や定着支援を推進するとともに、介護認定審査会のペーパーレス会議システムを本格導入し、介護認定審査事務のさらなる効率化を図ります。	市内介護サービス事業所における若手(39歳以下)の新規採用者数	64人 (R7.9.1現在)	70人 (R8.9.1現在)	介護人材奨学金返還補助金(介護人材確保育成事業)	
	中間評価				市内介護サービス事業所が介護人材が不足していると答えた人数	65人 (R7.9.1現在)		55人 (R8.9.1現在)
	最終評価				審査会に係る経費のうち消耗品費(コピー用紙・コピー代等)及び資料送付に係る通信運搬費の合計額	721千円 (R7予算)		484千円 (237千円削減)
⑧	地域・関係機関と連携し、社会とのつながりづくりを意識したところからた健康づくりを推進していきます。	健康づくり課	受診しやすい検診体制の整備と自殺対策の強化を図り、総合的な健康づくりを推進します。	対象年齢(50~68歳の偶数年齢)における胃がん検診受診率	4.0%	12.0%	胃がん内視鏡検診	
	中間評価				「燕市こころの健康スワロー運動」登録数(累計)	256企業	280企業	第2次自殺対策計画策定
	最終評価							ゲートキーパー養成講座
⑨	予防接種の充実により、病気の発症や重症化を予防し、安心安全な子育て環境づくりに努めます。	健康づくり課	予防接種の定期接種化や助成の拡充による経済的な支援をすることで子どもの感染症の発症や重症化を予防します。	RSウイルス予防接種実施率	—	90%	RSウイルス予防接種	
	中間評価				子どもインフルエンザワクチン接種費用助成者のうち経鼻ワクチン接種者の割合	12.6%	20%	子どもインフルエンザワクチン接種費助成
	最終評価							
⑩	健康づくりマイストーリー運動をさらに充実することにより、自分らしい健康づくりを推進します。	健康づくり課	健康づくりマイストーリー運動の項目を増やすことにより、様々なメニューの中から、楽しみながら自分にあった健康的な生活習慣の確立を目指します。	身体活動を1日1時間以上している人の割合	49.2%	50%	つばめ元氣かがやきポイント事業	
	中間評価							健康づくりマイストーリー運動
	最終評価							
⑪	医療・保健・福祉が連携して医療体制の強化と健康に対する意識を高めていきます。	健康づくり課	オンライン診療や医療相談など医療を受けやすい体制を整備するとともに、訪問などで健康状況を把握することにより誰もが医療・介護を適切に受けられ、健康に関心を向けられる体制づくりに取り組みます。	オンライン診療トライアル実施	—	1回	「転ばぬ先の医療」推進プロジェクト「転ばぬ先の医療」推進会議	
	中間評価				つばめ元氣かがやきポイント事業報告者のうち、かかりつけ医がいると回答した人の割合	—	70%	「転ばぬ先の医療」推進プロジェクト健康・医療相談窓口
	最終評価				R8健康状態不明者で、包括の訪問後にR8年度内に医療機関の受診・健診受診・介護保険申請につながった人の割合	8.6%	15%	「転ばぬ先の医療」推進プロジェクト「転ばぬ先の医療相談(個別)訪問事業
⑫	国民健康保険・後期高齢者医療制度の被保険者の健康増進のため、特定健診・健康診査の受診率の向上に努めます。	保険年金課	国民健康保険・後期高齢者医療制度の被保険者の健康増進を図るため、特定健診・健康診査の受診率向上に取り組み、保健指導及び早期治療につなげます。そのため、新たに医療機関での個別健診を開始するとともに、健診未受診者に対して、効果的な受診勧奨案内通知を継続することで受診を促します。	特定健診受診率	47.5% (R7年度受診率見込)	48.5% (+1%)	特定健康診査事業(個別健診の導入)	
	中間評価				後期高齢者健診受診率	22.9% (R7年度受診率見込)	23.9% (+1%)	後期健康診査事業(個別健診の導入)
	最終評価							